

■2026年度スケジュール(予定:変更となる場合があります)

応募期間	5~6月	受講生応募受付(次項の「応募期間」参照)
	基礎ステージ受講生選抜	
基礎ステージ (1年目7月 ~2年目1月)	7月26日	オリエンテーション
	8月22~23日	全体セッションⅠ(2日間)
	11月7~8日	全体セッションⅡ(2日間:研究課題提案 中間発表会)
	1月9~10日	全体セッションⅢ(2日間:研究課題提案 最終発表会)
実践ステージ (2年目2月 ~3年目3月)	実践ステージ受講生選抜	
	2月~	個別課題研究(大学の研究室等)
	3月	実践英語集中研修
	6月・10月	研究進捗状況報告会
	8月中旬	海外での成果発表(シアトル・ワシントン大学:代表者数名)
	3月	研究成果報告会

■受講生募集と選抜について

2026年度を受講生募集については以下の通り予定しています。

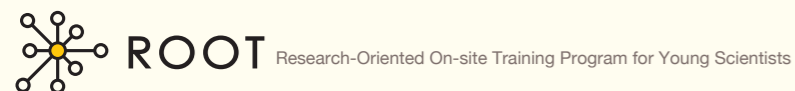
応募期間	5/1(金)~6/7(日)
応募方法	ROOT プログラム Web サイトの応募フォームに必要事項を記入してお申込みください。
選抜方法	応募者から書類審査とインターネットを用いた面接により約40名を基礎ステージ受講生として選抜します。 応募者が多数の場合には、書類審査により面接を行う受講生を選抜します。
面接日	6/13(土)、6/14(日)、6/20(土)、6/21(日)

募集要項の詳細は ROOT プログラム Web サイトをご確認ください。

<https://rootprogram.stepnext.org>

※本プログラムは、高校生のほか、高校生に対応する学年の高等専門学校生も対象とします。
※中学生であっても、卓越した資質を持ち、本プログラムを受講する上で特別な補助を必要としない判断した場合には受け入れる場合があります。
※科学技術振興機構(JST)の支援を受けて他大学が実施する同様のプログラムを同じ年度に受講することはできません。

■連絡・問い合わせ先



ROOTプログラム事務局
神戸大学 未来開拓人材育成センター
〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11

TEL/FAX: 078-803-7979
E-mail: gsc-hyogo@org.kobe-u.ac.jp
Web: <https://rootprogram.stepnext.org>



ROOTプログラム
Webページ



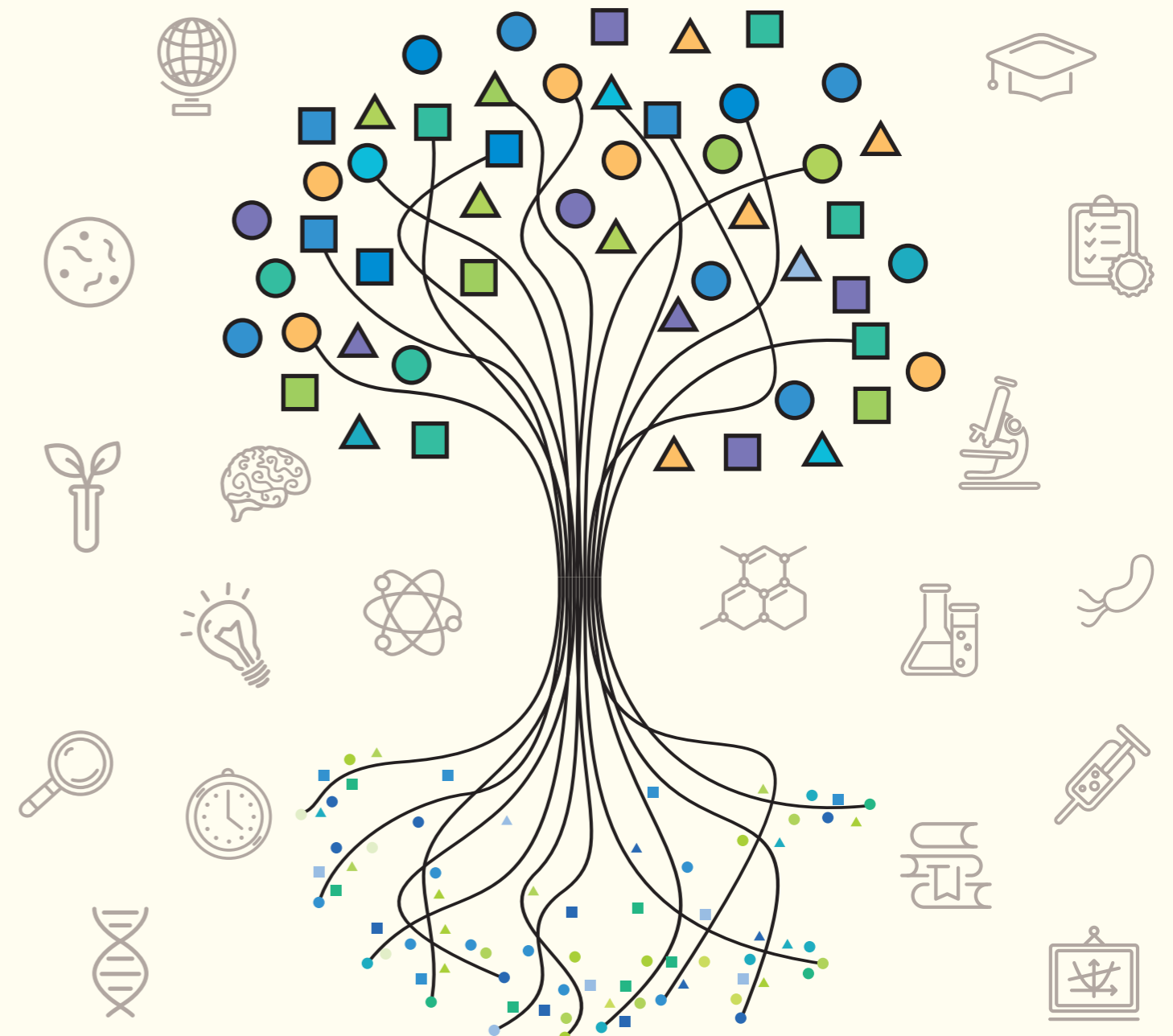
2026.02



科学技術人材育成プログラム

ROOT

Research-Oriented On-site Training Program for Young Scientists



プログラムの概要

科学に関わる強い好奇心や探求心を持つ高校生等が、将来国際的に活躍する科学者や技術者を目指して大きく成長してゆくための教育プログラムです。物事を深く掘り下げて考え、自ら研究課題を立て、障害や困難を越えて研究に取り組む力を育むことを目指します。プログラムには、科学を中心とした幅広い分野の講義や実習、研究機関等の見学のほか、大学の研究者等の指導のもとで研究に挑戦する科学力を高める取り組み、国際コミュニケーション力を養成する取り組みなどが含まれます。

プログラムは、前半の基礎ステージ（7月から翌年1月）と後半の実践ステージ（2月以降）から構成されます。基礎ステージ受講生（約40名）は、応募者の中から6月に選抜します。また、翌年1月に基礎ステージ受講生の中から実践ステージに進む受講生（約10名）が選抜されます。ROOTプログラムは、神戸大学、兵庫県立大学、関西学院大学、甲南大学、神戸薬科大学の連携により、国立研究開発法人科学技術振興機構次世代科学技術チャレンジプログラム、一般財団法人三菱みらい育成財団、株式会社ダイセルの支援を受けて運営されています。



国際的に活躍する
科学者をめざそう!!



受講生の声

ROOTに参加した受講生たちにプログラムを受講して感じたことを聞きました

一歩踏み出して広がった科学の世界

私は昨年、同じ学校の先輩が ROOTプログラムのポスターに載せていた感想を見て、「研究をしたことがなくても参加して本当に良かった」、「迷っているなら参加してみたい」という言葉に背中を押され、参加を決めました。実際に受講してみて、その言葉は本当だったと感じています。大学の先生や企業の方の話を直接聞き、実習や見学を通して、科学が社会や私たちの生活と深くつながっていることを実感しました。学校や年齢の違う仲間と学ぶ経験も刺激的で、不安がありながらも最後までやりきれたことは大きな自信になりました。だからこそ今度は、参加を迷っている人に、このプログラムを勧めたいです。

金川 慧玲さん 2025 年度基礎ステージ修了生
帝塚山中学校*

研究の楽しさを知り、将来の選択肢が広がるプログラム

ROOTプログラムを通して、自分が大きく成長したことを実感できました。半年という短い時間でしたが、ROOTプログラムでの体験はすべてが濃密で、参加前では考えられなかったほど研究を身近に感じられるようになりました。特に、様々な分野に精通した先生や個性豊かで暖かな仲間たちとの関わりは、自分にない科学の知識や物事に対する価値観、そして人とかかわる楽しさを教えてくれました。また、様々な大学や博物館に訪れ講義を受けたり、全国の高校生の研究者たちが集まる東京でのサイエンスカンファレンスに参加したりした経験は、研究への探求心に何度も刺激をもらいました。ROOTプログラムに参加して、自分の将来の選択肢が大きく広がったと感じました!

丸岡 希実さん 2025 年度基礎ステージ修了生
兵庫県立宝塚北高等学校*

自分と向き合い、研究と向き合う一年

ROOTプログラムを通じて、これまで漠然と抱いていた「将来は研究をしたい」という思いが、より鮮明で具体的なものとなりました。研究課題提案を作成する過程では、新規性や独自性を生み出す問いの立て方を学び、研究に取り組む姿勢を少しずつ身につけることができました。週末セッションで多様な研究に触れた経験は、広い視点から研究課題を考えるきっかけとなり、他の受講生との交流は、多様な視点とともに良い刺激を与えてくれました。このプログラムによって、自分を見つめ直し、これから必要となる知識や能力を意識しながら、将来への学びの指針を得ることができたと感じています。

藤本 翔大さん 2025 年度実践ステージ生
兵庫県立神戸高等学校*

研究が教えてくれた可能性

様々な研究分野の講義を通して、世の中のあらゆるものが研究によって明らかにされ、その積み重ねによって世界が成り立っているのだと知り、科学や研究の重要性に気づくことができました。また、参加当初は研究とは何かも分からず、生物や化学の知識もありませんでしたが、知識ゼロの状態から研究課題の考案や計画に取り組み、研究活動に一生懸命向き合った経験は、自分の努力次第でどんなことも実現できるのだと気づかせてくれました。ROOTプログラムを通して私の科学に対する考え方や人生観が変わり、参加できて本当に良かったと感じています。

木田 小雪さん 2025 年度実践ステージ生
親和女子高等学校*

*いずれもプログラム受講当時

基礎ステージ

1年目の7月～2年目の1月(約40名)



研究に必要な様々な基礎を学ぼう!

基礎ステージ(1年目の7月から翌年1月)では、科学的な「問い」について共に考え深めながら、研究を進める上で必要となる考え方や技術を学び、受講生が個別課題研究の研究提案を作成し、その発表を行います。その過程で様々な障害や困難を越える力を身に付けます。また、国際的に活躍するためのコミュニケーション力の基礎を身につけます。受講生全員が参加するイベントとして、8月、10または11月、翌年1月に全体セッションⅠ、Ⅱ、Ⅲを実施します。8月から12月にかけて、週末に講義や実習などを含むセッションを開催し、受講生は興味のある回を選択して月2回程度参加します。先端研究機関等の訪問・見学も行います。

研究課題・計画の立案

「科学」とは何か、科学的な「問い」とは何かを共に考えながら、受講生それぞれが自ら追求しようとする問いを掘り下げて、研究課題・計画としてまとめ、全体セッションⅢで発表します。

基礎知識や技術の習得

研究を進める上で必要な基礎知識や技術を身に付けるため、物質科学、生命科学、情報・計算科学、人間・環境科学の4つの分野について、講義や実習・実験などに取り組みます。また、哲学やアートと科学について考えます。

コミュニケーション力を高める活動

研究構想のプレゼンテーション、教員・受講生間のディスカッション、交流などを通じてコミュニケーション力を高めます。英語で情報を伝える活動にも取り組みます。

※人や脊椎動物を対象とする実験的研究、危険を伴う研究などには制限があり、実施できない場合があります。

実践ステージ

2年目の2月～(約10名)



本格的な研究に取り組もう!

実践ステージ(2年目の2月から)では、基礎ステージから選抜された受講生が、自ら提案したテーマについて大学などで研究に取り組みます。研究の過程で、受講生と大学教員が集まって研究の進捗について報告、意見交換したり、研究活動に取り組む海外の高校生と交流する機会などがあります。実践ステージの後半以降は、研究成果をとりまとめ、国内の学会や研究会での発表を目指します。さらに国際学会での発表や、英語論文の執筆にも、積極的に挑戦することが期待されます。最後に実践ステージでの活動や研究について報告するレポートを提出し、研究成果発表会で発表します。

研究の実践

基礎ステージで立てた研究課題について、専門家との議論を通じて、「実行可能性」、「新規性」、「科学的価値」のある研究課題に練り直し、専門家のアドバイスのもとに本格的な研究の実施を目指します。

英語のプレゼンテーション実習

科学研究を進めたり、発表したりするのに必要な実践的英語力を高める集中的な研修を3月に行います。英語によるディスカッション、プレゼンテーションなどに関してネイティブスピーカーの講師らによる指導・実習を行います。

研究成果の発表

研究成果が得られた段階で、国内外の学会や科学コンテスト等での研究発表や、研究成果を論文としてまとめることにチャレンジします。